

ライスカレー (1) 飯 (2) 米。カレライス。ライスカレー「和製英語the curry」カレライス。学生ライブラリースタッフの愛称。②返却された本を棚に戻す配架業務や乱れた棚の整理業務、利用者からの質問対応、企画業務などに携わる学生スタッフの1人として。

2月9日に近畿大学で開催された『学生協働フォーラム』に参加し、ライブラリースタッフの業務紹介プレゼンテーションを行いました。本学を含め6大学の学生スタッフが集まり情報共有や意見交換をしました。

他大学の方々とグループディスカッション・プレゼンを通し、たくさんの知識を学ぶことが出来ました。桃山学院大学図書館とは異なった企画・アイデアを知る良いきっかけになったと思います。少しずつではありますが、今回得た新たな発想を取り入れていきたいと考えています。刺激的な機会を与えていただきありがとうございました。
T.Y.

らいすたの活動をプレゼンさせて頂いたのですが、とても緊張しました。他大学の方々のプレゼンでは、その大学ならではの企画を知ることが出来て、とても有意義な時間を過ごせました。
T.T.

グループディスカッションで他大学と意見交換する中で、面白い企画や広報活動などについて様々な意見を聞いたので、らいすたの活動にも少しずつ取り入れていきたいと思った。
M.K.



もっと図書館を使いたくなる
桃大生のための図書館通信

No.17 桃大図書館通信

2018年4月10日発行 Momodai Toshokan Tsushin



http://www.andrew.ac.jp/library/jpn.htm

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。図書館へようこそ。

大学では高校と全く違う教育が行われます。高校では、学ぶ(もともとの意味は「まねる」)でしたが、大学は学んだ後、研究します。研究を難しく考える必要はなく、他人の言うこと、特に教員の言うことを「本当か?」と疑うことから始めればよいのです。全ては疑うことから始まります。もちろん、疑うからにはその前の知識がないとただの質問になってしまいます。別の考えもあるけれども、この考えは正しいのかなと疑うところから「研究」が始まります。

では、そのいろいろな考えをどこで探したらよいでしょうか。皆さんは、生まれたときよりインターネットがあり、携帯電話やスマホを自由に使いこなしてきてきたと思います。インターネットには、すさまじい量の情報がとびかっています。しかし、すべてが正しい情報とは限りません。根拠のない単なる自己主張や、わざと「にせ情報」をのせる者もいます。その情報が正しいかどうかはどうやって判定していくのでしょうか。そのめやすとなるのが数千年の歴史をもつ人間の英知の結晶である書物であり、それを見やすいように集めた場所が図書館です。

本学図書館には約70万冊の本があります。それらの中には何が正しく何が間違っているかの判断の基準となる書物があります。さらに、本は善悪を見極める基準になるだけでなく、あなたの一生を変えるものになるかもしれません。本がもつ役割はいろいろありますが、今まで知らなかったことを知ったり、知らない時代や場所に行ったりできます。

しかしそのような本にあなたが出会うには、まず自分でいろいろな本を手にとってそれをあけて読んでみないことには始まりません。キリストが教えを広めようとドアをたたいても、そのドアには取っ手がついていないので開けることができず、中の人を話に聞こうとドアを叩けば、キリストの言葉を聞けないのと同じです。これを描いたステンドグラスが模擬裁判教室-トマス館 103 教室-にあります。興味のある人は見て下さい。

70万冊の本は、すべてあなたが借り出せるか館内で読むことができます。まずはその本を手にとって、最初のページを開いてみてください。SNSで見えるような短い文はなりません。ふだん見慣れた文とは違い、文の集まりである文章を読み進めるのは少し苦しいかもしれません。でも文章を読み進めていくと、次々にあなたの前にはとてつもない世界が広がっていくのがわかると思います。

館長あいさつ



桃山学院大学附属図書館長 法学部教授 瀧澤仁唱(たきざわ ひとひろ)

新課長あいさつ

図書館事務室 課長 金子 敏彦

「23.6分」。これは何の時間かわかりますか? 大学生の一日の平均読書時間です。(第53回学生生活実態調査/全国大学生生活協同組合連合会の調査) 「53.1%」これは一日の読書時間が0分の大学生の割合で、調査項目に読書時間が入って以来、初めて半数を超えたことです。 「177.3分」これは一日のスマホの平均利用時間です。 スマホは便利ですよね。ネットを利用すると欲しい情報が瞬時に手に入ります。でも読書が習慣になっている学生とそうでない学生を比較すると、後者は「情報処理能力は高いが自分の考えを持つことは苦手」との研究発表があります。 ジャーナリストの立花隆氏は「スマホの向こうに何があるかが大事なんです。スマホの向こうに、人間の持っている知識全体があるんです。これまでは、インプット、アウトプットの2つでしか物を考えてこなかったのが、いまはスループットという言葉があって、情報が頭を通過するスループットがものすごい勢いで増えているのが現代の特徴です。そのなかで人がどういう情報を拾い上げ、自分自身の脳を作り上げていくか。そこが大事だという感じになっているのではないのでしょうか」と発言されています。 社会に出ると、組織の中で働くにしろ、起業等個人で働くにしろ、必要とされるのは「自分の頭で考えて、自分の言葉で伝える」スキルです。 本学図書館は約70万冊の蔵書と約7,000種の雑誌、38種の新聞を所蔵しています。上手く利用して、「社会人として通用する脳」を作り上げてください。

図書館1階展示コーナーは、さまざまな企画で展示中!

「未来の自分をつくる」 ~今できること~

大学の4年間という大切な期間に、何ができるか、何をやってきたか。卒業後につながる世界を考えたり、自分を高めるきっかけになるような資料を展示しています。「君たちはどう過ごすか」ぜひ手にとってみてください!



図書館1階展示本コーナーとは? 1階階段横と、奥のスペースに、それぞれのテーマで図書館の本を展示しているコーナーです。すべて貸出できます。

教員おすすめ本 2018



各学部の先生方がおすすめする本です。

芥川賞・直木賞コーナー

どちらも毎年話題になる、文学作品に贈られる賞です。このコーナーでは2000年以降に受賞した作品を展示しています。 娯楽性よりも芸術性に重きをおいた純文学が選考される芥川賞か、それとも逆の娯楽性・大衆文学の直木賞か。読み比べてもおもしろいかもしれません!

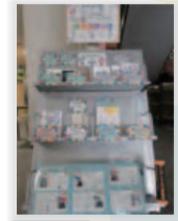


レポート・論文に困ったときに「レポート・論文お助け本」あります

これから授業で出されるレポートや論文の課題。考えるだけでも減ってしまいそうと悩むあなたのために、レポート・論文作成に役立つ本を推薦・特集本コーナーの一角に常設展示しています。困ったときにはいつでもどうぞ。

大学広報誌 × 図書館コラボ企画 アンデレクロス

大学広報誌「アンデレクロス」では、各学科の先生がそれぞれの視点で参考書籍が紹介されています。その資料が利用できるコラボ企画です。



編集後記

◆桃大図書館通信 MOTT 第17号はいかがでしたか。今回は、「新入生歓迎特別号」として、新入生図書館オリエンテーション「図書館 Quest2018」で使うマップを載せています。◆昨年度の入館者数は247,928名(学生1人当たり38.1回)、貸出冊数は105,445冊(学生1人当たり16.2冊)となりました。◆AI(人工知能)は意味を理解しません(読解力がありません)。AIに仕事が淘汰されてゆくこれからの時代を生きていくには「意味を理解する力=読解力」が必要となります。「この場所(図書館)から、世界が変わる。」(K.K)



第1ステージ「謎の書」

桃山学院大学附属図書館 フロアマップ

図書館Quest 2018

～図書館迷宮の秘宝～

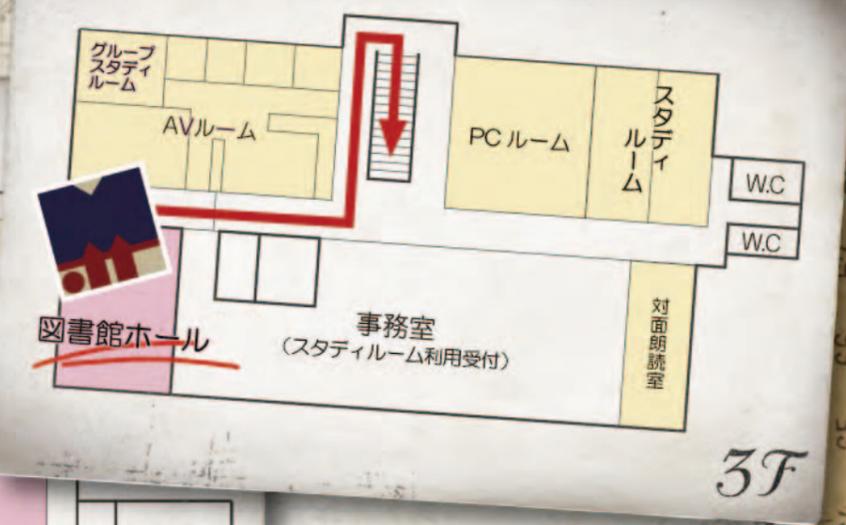
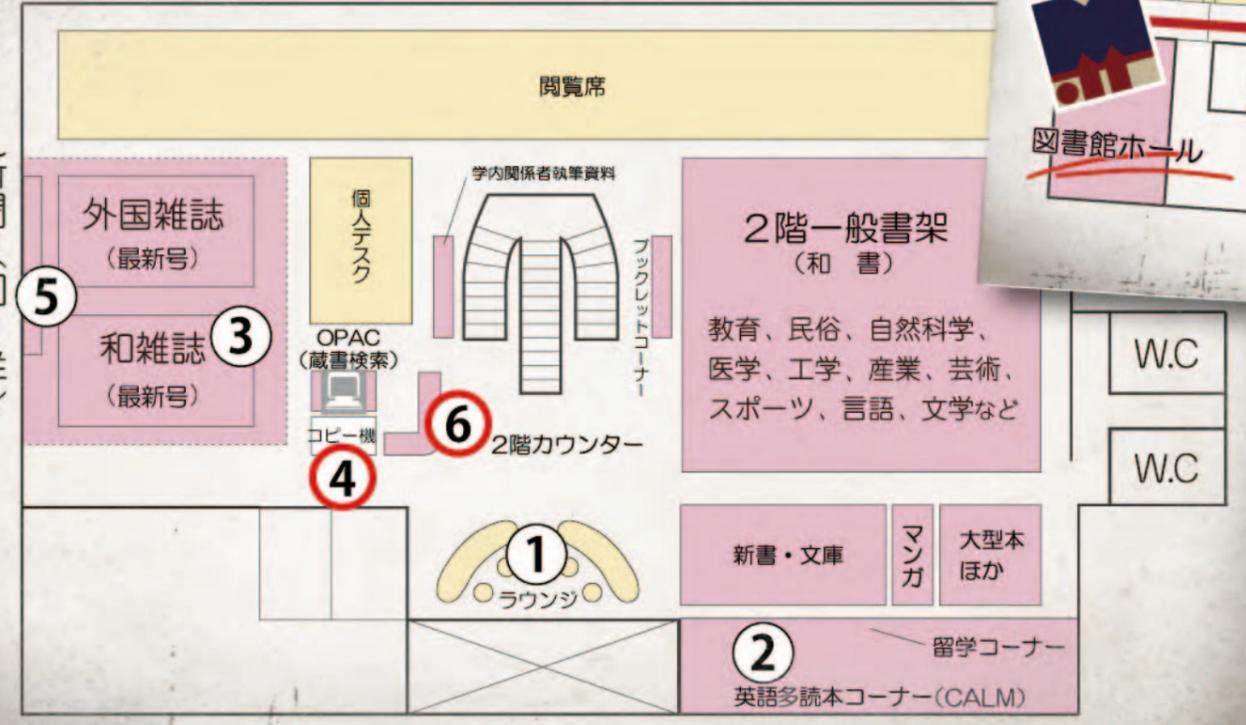


この地図をもとに、図書館内に隠された「謎の書」の謎を解いてキーワードを集めたら、「図書館の番人」のところへ行こう！



2F

新聞(和・洋)



第2ステージ「図書館の番人」

カードに書かれた本のタイトル

○	所在	請求記号
	1階一般書架	
	2階一般書架	
	新書コーナー(2階)	
	文庫コーナー(2階)	
	推薦・特集本コーナー(1階・2階)	

○	所在	請求記号
	1階一般書架	
	2階一般書架	
	新書コーナー(2階)	
	文庫コーナー(2階)	
	推薦・特集本コーナー(1階・2階)	

カードに書かれた本のタイトル

○	所在	請求記号
	1階一般書架	
	2階一般書架	
	新書コーナー(2階)	
	文庫コーナー(2階)	
	推薦・特集本コーナー(1階・2階)	

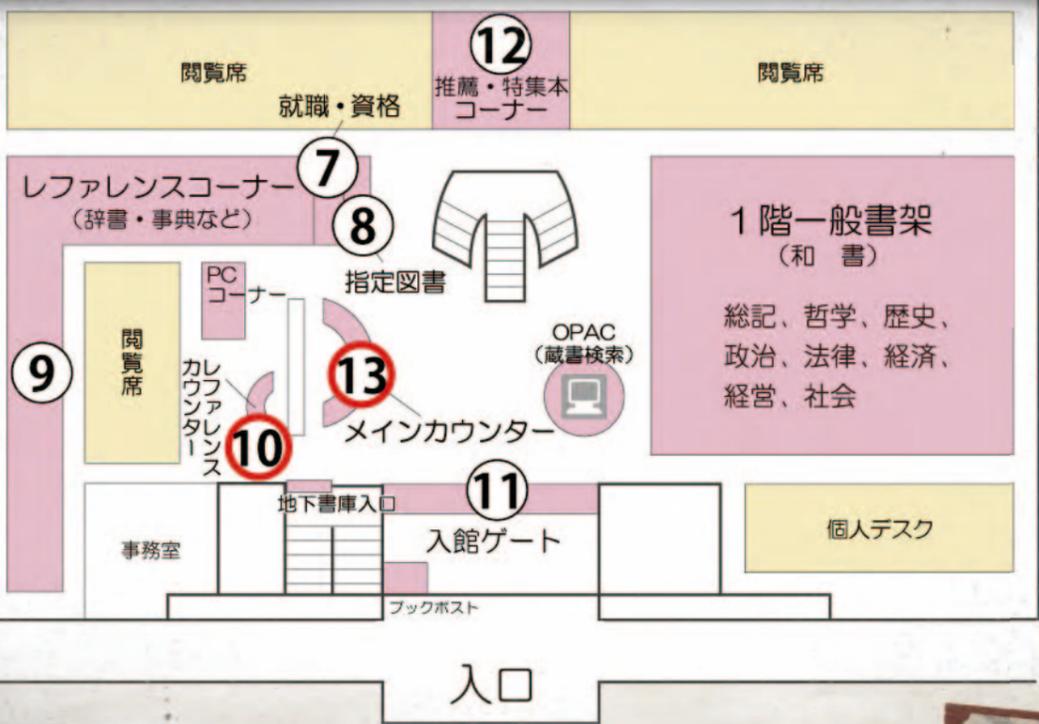
○	所在	請求記号
	1階一般書架	
	2階一般書架	
	新書コーナー(2階)	
	文庫コーナー(2階)	
	推薦・特集本コーナー(1階・2階)	

チェックポイントでヒントを集めてね!

B1F



コピー機



トマス書庫



B2F

Key Word 記入欄

1	2	3-1	3-2	4	5-1	5-2	6	7	8	9-1	9-2	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20